

<内容解説資料>

2 特集1 令和3年度版 中学校国語教科書 『伝え合う言葉 中学国語』の紹介

新しい時代の国語学習を切り開く

児玉 忠

「言葉の力」を育てるために

北原 保雄

4 特色① 主体的・対話的で深い学びを実現する

12 特色② 確かな言葉の力を身につけ、生かす

27 特集2 令和3年度版 中学校国語科書写 教科書『中学書写』の紹介

さまざまな場面で生きてはたらく
書写力を育み、文字文化と豊かに関わる
書写教科書

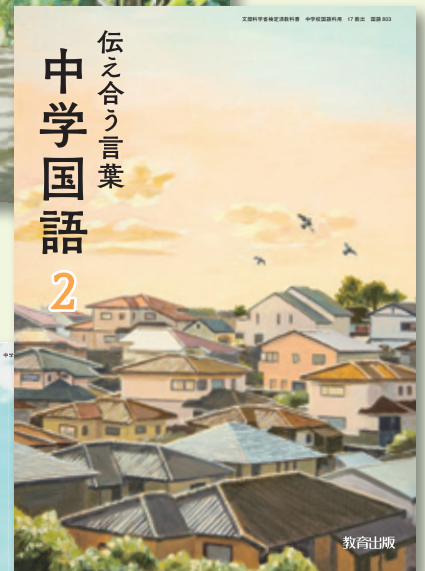
加藤 泰弘

31 編集後記

道標

みちしるべ

Vol. **40** 2020
Spring



教育出版

令和三年度版 中学校国語教科書『伝え合う言葉 中学国語』の紹介

北原保雄
(きはらはやすお)

筑波大学名誉教授、元筑波大学学長。独立行政法人日本学生支援機構理事長。新潟産業大学名誉学長。文化審議会委員（国語分科会会長として「これからの時代に求められる国語力について」を答申）、現在、日本教育会会長。

「言葉の力」を育てるために

北原保雄

以前、私が文化審議会の国語分科会会長としてまとめた「これからの時代に求められる国語力について」（平成十六年二月三日に文部科学大臣に答申）で提示した課題が、ようやく具体化されようとしています。

この間、学習指導要領も二回改定が行われましたが、特に今回（平成二十九年）の改訂においては、論理的思考力の育成として、語彙指導や情報の扱い方に関する指導の改善・充実などが明確にされました。

また、文化庁においては、「分かり合うための言語コミュニケーション（報告）」（平成三十年）がまとめられ、コミュニケーションについての一定の指針も示されました。

また、社会的な課題はさらに多様化しており、世界平和はもちろん、地球温暖化をはじめとする環境問題、地震・台風・豪雨など自然災害に関する課題、AIなど新たな技術に関する話題など、これからの大きな変容が予想されます。

このような状況の上に立ち、新しい令和三年度版『伝え合う言葉 中学国語』は、教育出版教科書が続けてきた、生活の中で、学習の中で、言葉を的確に捉え、自分の言葉で考え、表現する力を養うこととともに、「これからの時代に求められる国語力について」において提起されたさまざまな点を、具体的に、これからの時代を担う中学生の皆さんに向けて、国語教材として提供するものです。

まず冒頭に、「言葉の地図」を掲げ、「この教材を使う皆さんへ」で「私たちを取り巻く課題」「課題を追究する方法」などを解説し、学年ごとに、「一（二、三）年生で学ぶ内容と身につけたい言葉の力」を設けて、各教材について「学習の流れと身につけたい言葉の力」を系統的、体系的にわかりやすく図表にまとめて示しました。

新しい時代の国語学習を切り開く

児玉忠

○国語の「学び方」を学ぶ

「国語はどう勉強すればいいの？」という生徒たちの声に応えます。

○日本の「言葉と文化」を学ぶ

多様な言語活動をととして、言葉の仕組みや日本語文化の魅力を学びます。

○現代の「地球規模的な課題」を学ぶ

国連の「SDGs（持続可能な開発目標）」を国語科の視点から広く深く追究します。

そして、各単元に、「言葉と社会」「文法の小窓」「漢字の広場」「言葉の小窓」などを適宜設けて、それらを巻末においてさらに深く学べるように編集しました。

この教科書は、「言葉の地図」に「この教材を使う皆さんへ」とあるように、先生がたというよりも生徒諸君のための教材だと考えて編集されています。各所に「学びナビ」が設置されているように、主体的で、深い学びができることを目指しています。

言葉の基本を学ぶことも大切ですが、言葉を使ったコミュニケーションはもっと重要です。現代はまさにコミュニケーションの時代です。コミュニケーションの学習も重視しました。

「言葉の地図」は、丁寧に読めば、言わんとしているところがよく理解され、指導案も見えてくると思います。まず先生がたが「言葉の地図」を自家薬籠中のものにするからです。

「言葉の地図」がよく理解された授業が展開されれば、最高の国語科学習が達成されるだろうと期待しています。



児玉忠（こだまただし）

宮城教育大学教授。平成二十九年告示「中学校学習指導要領 国語」学習指導要領等の改善に係る検討に必要な専門的作業等協力者。

特色 1

主体的・対話的で深い学びを実現する

学びナビ「説明的文章」

● 学びナビの構造「説明的文章」

本文の内容を、キーワードを中心に整理。

一般的な説明的文章を読むためのポイント・着眼点を解説。

学びナビの構造「説明的文章」

本文を読んで、キーワードを抜き出してみよう

本文の内容を、キーワードを中心に整理。

一般的な説明的文章を読むためのポイント・着眼点を解説。

学びナビの構造「説明的文章」

本文の内容を、キーワードを中心に整理。

一般的な説明的文章を読むためのポイント・着眼点を解説。

学びナビの構造「説明的文章」

学びナビ

- ・ 読み方や読む観点を明確にする。
- ・ 内容を正確に把握するための方法を学ぶ。
- ・ 「言葉による見方や考え方」を捉え、考えを広げたり深めたりする。



「学びナビ」が開く深い読み

生徒が見通しをもって、主体的・対話的に学習に取り組むことができる「学びナビ」を設けました。

文章を理解するためには、学習の方法を習得することが必要です。

教材文や活動の前に「学びナビ」を新設し、その教材で「何を学ぶか」を示し、見通しをもって学習を進められるようにしました。

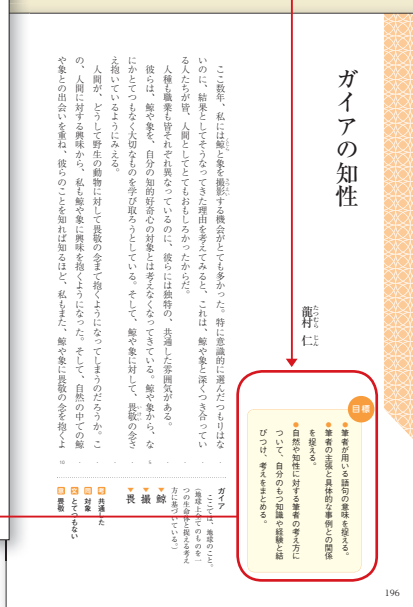
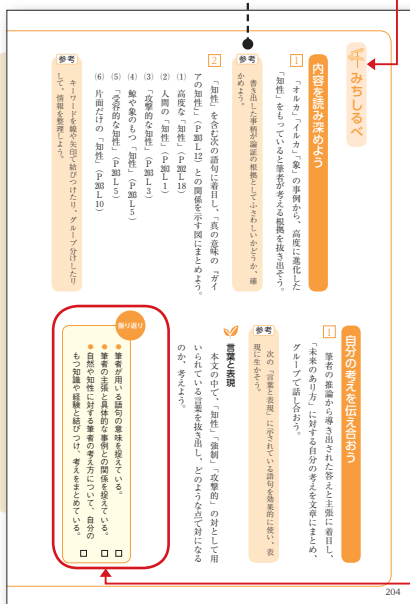
「何が」だけでなく「どのように」書かれているかを学ぶことで、教材をより深く読むことが可能になりました。

自分の力で読んでいく際の手助けとなる「参考」。

「ここが大事」と「目標」「みちしるべ」の連携

「ここが大事」に重要な点を明記。

説明的文章における筆者の論の展開の仕方や表現の工夫を読むことで、筆者の考えを的確に捉える力を養います。



「目標」で学習の見通しをもち、「振り返り」で自覚的に確かめる。

学習の手引き「みちしるべ」

教材

●系統表「説明的文章」

第一学年		第二学年		第三学年
自分の脳を知っていますか	文章の構成を捉える	日本の花火の楽しみ／水の山 富士山	観点を明確にして読み比べる	立つてくる春／なぜ物語が必要なのか
森には魔法つかいがいる	論理の展開を捉える	紙の建築	具体例から主張を捉える	Aーは哲学できるか
子どもの権利	説明の仕方に着目する	ガイアの知性	主張につながる推論を捉える	批判的に読みながら主張に迫る
言葉がつなぐ世界遺産	問いと答え、事実と意見	学ぶ力	述べ方から主張を捉える	asyncー同期しないこと／問いかける言葉
				主張のよりどころを捉える

主体的・対話的で深い学びを実現する

学びナビ
〔文学的文章〕

● 学びナビの構造〔文学的文章〕

走れメロウ

変化する語

読みの扉を開く

以上のように、語り手は「私は、僕」と語りながら、
 少年は「彼は」「ヒトシ」と語りながら、
 作品を完成させた。語り手が登場人物の心情を
 保つて語るのとすれば、語り手は登場人物の心情を
 とも持たず、語り手としての存在に立つていることが注
 目するところでは、文学作品を認識するうえで重要で
 目するのと同じ位重要な要素であることもまた、変
 化しつづけることであらうからである。
 足利半蔵さんは「メロは」を敬愛した」といふ文が
 知られる。語り手は、メロと主として川村、村
 に始まる。語り手は、メロと主として川村、村と
 いう二つの階式、主と対象をたてて語り、ま
 ずは「あ、彼れつゞメロがさういふ一面の面は」
 のようにありながら、

語り手の位置が変化する効果

「それと云ふは、末娘（吉直娘）のルセル（ルセルから）」とあるように、古代リールの伝承を題材としています。リールは、ドイツの詩人、シゲル・メロ（現住しては、シゲルと訳されます）が「人」といふ詩を創作し、日本でも翻唱されたが、それを元に、太宰治が小説でリール・ラットにしたにすぎない。それとメロロ、で、語り手は、ロシアにリール・ラットなり距離をとることに伴って、読者とリール・ラットの距離にも差が生じることがある。こゝで言う語り手の工夫によって物語の遠近力が増し、メロスの共感を促すと同時に、読者に強い印象を与えることができる。

この作例にはほかにともにもう二篇ある。表現の特徴があまりまずまず、それらの効果もあまりよくない。読んでみると、

「それと云ふは、末娘（吉直娘）のルセル（ルセルから）」とあるように、古代リールの伝承を題材としています。リールは、ドイツの詩人、シゲル・メロ（現住しては、シゲルと訳されます）が「人」といふ詩を創作し、日本でも翻唱されたが、それを元に、太宰治が小説でリール・ラットにしたにすぎない。それとメロロ、で、語り手は、ロシアにリール・ラットなり距離をとることに伴って、読者とリール・ラットの距離にも差が生じることがある。こゝで言う語り手の工夫によって物語の遠近力が増し、メロスの共感を促すと同時に、読者に強い印象を与えることができる。

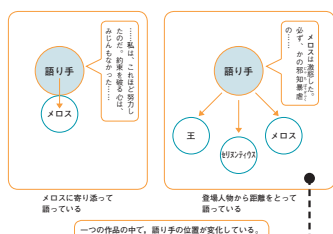
「走れメロス」では語り手が、メロスに密着して添ったたり距離をとったたりすることに伴って、語り者とメロスの距離にも変化が生じている。このような読者の工夫によって物語は迫力を増し、メロスへの共感を促すと同時に、読者にも強い印象を与えている。

この作品には他にもさまざまな表現の特徴がありまゝ。それらの効果を考えながら、より深く読みみましよう。

ます。それらの効果を考えながら、より深く読んでみましょう。

「読み方」を把握し、
本文の読みに結びつける。

「文学の読み方」の
一般的な説明。



▲2年P246『走れメロス』

取り上げている内容を図解で可視化。



樺山敏郎（かばやまとしろう）
大妻女子大学准教授。
元文部科学省国立教育政策研究所
学力調査官・教育課程調査官。

学力向上と新しい国語教科書 樺山敏郎

全国学力・学習状況調査等の結果にみる中学校国語科の課題は、「伝えたい内容や自分の考えについて根拠を明確にして書いたり話したりすること」「複数の資料から適切な情報を得てそれらを比較したり関連付けたりすること」などです。こうした課題は、教科国語の課題であるとともに、各教科等に横たわる学習の基盤となる課題でもあります。国語科でつける資質・能力は、系統的・段階的に上の学年につながるもので、螺旋的・反復的に繰り返すことで定着を図るものです。

こうした系統や段階、螺旋や反復という概念を、生徒はどれだけ意識しているでしょうか。今回、そこへアプローチし、「学びナビ」を新設しました。単元や題材の学びが、これまでの学びからどう発展するか、ここでの中心的なねらいは何か、これからの学びにどう活用できるかを、生徒の視点に立ってビジュアルを工夫して示しました。いわば学びの羅針盤としての役目があり、見開きのページの確実な習得と各教科等での活用が必ずや学力向上につながると期待しています。

走れメロス

太宰治

目標

- 抽象的な概念を表す語句の量を増やし、自分の表現に役立てる。
- 人物の感情や行動の描写を捉え、人物の感情や行動の変化を表す語句の効果を捉える。
- 登場人物や語り手のものの見方から自分について理解し、自分の考えを深める。

メロスは微笑した。必ず、かの邪悪な王を除かなければならぬと決意したメロスには政治がからぬ。メロスは、村の牧人である。笛を吹く、羊と遊んで暮らしていた。けれども邪悪に対しては、人一倍に敏感であった。今日未明メロスは村を出発し、野を越え山を越え、十里離れたこのシラスの町にやってきた。メロスには父も、母もない。十六歳の、肉な体二人暮らしだ。この村は、村のある狭い一帯に、牧人を、近々、花婿として迎えることになっていた。結婚式の間近なのである。メロスは、それゆえ、花嫁の衣装やら祝宴のことやらを買いに、はるばる町にやってきたのだ。まず、その品々を集め、それから都の大路をぶらぶら歩いた。メロスには竹馬の友があった。セリヌデイスである。今はこのシラスの町で、石工をしている。その友を、これから訪ねてみるつもりなのだ。久しく会わなかったのだから、怪しく思った。ひ

学びのヒント

内容を詳しく読みよう

- 1 「メロス」「ディオニス」「セリヌデイス」は、それぞれどのような人物か、まよめよう。
本文中に「走れ！メロス」「P助！P助」と命令形で語られているのはなぜか、語合ってみよう。
- 2 「私は、途中で一度、悪い夢を見た。（P助13）とは、どのようなことをしているのか、あてはまるとわかる場面を探そう。

自分の考えを伝えよう

- 1 メロスが町に向かっていることの意味について、次の二つの表現を比較しながら考えを交流しよう。
① 「私は、なにか、もっとあつて大きいものために走っているのだ。（P助13）」
② 「ただ、誰のわがままに大きな力に引きずられて走る

振り返り

- 2 語り手の視点から、三人称・一人称・二人称を交用することについて、このような語り方がもたらす効果について話し合い、意見を交流しよう。
- 言葉の表現
- この作品には特徴的な表現が多く用いられている。次の観点に照準を当て、本文から探し、それぞれのどのような効果をもたらしているかを考え、自分の表現に役立てよう。
- (1) 擬人化・擬物化 (2) 比喩表現
 - (3) 擬人化・擬物化 (4) 比喩表現

文学作品の構成や表現の仕掛けを知ること、読みを深める力を養います。

「目標」で学習の見通しをもって作品を読み、「振り返り」で自己評価が可能に。

●系統表「文学的文章」

第一学年		第二学年		第三学年	
桜蝶	◇物語と小説って何？ — 文学作品の特徴 —	タオル	◇象徴表現を読む	私	◇「私」という記号
オツベルと象	◇語っているのは誰？ — 作者と語り手 —	夏の葬列	◇小説の時間にご用心 — 時間と構成 —	故郷	◇「私」が語る — 一人称 —
少年の日の思い出	◇語り方に注意！ — 人称 —	走れメロス	◇変化する語り — 語り手の位置 —		

特色 1

主体的・対話的で深い学びを実現する

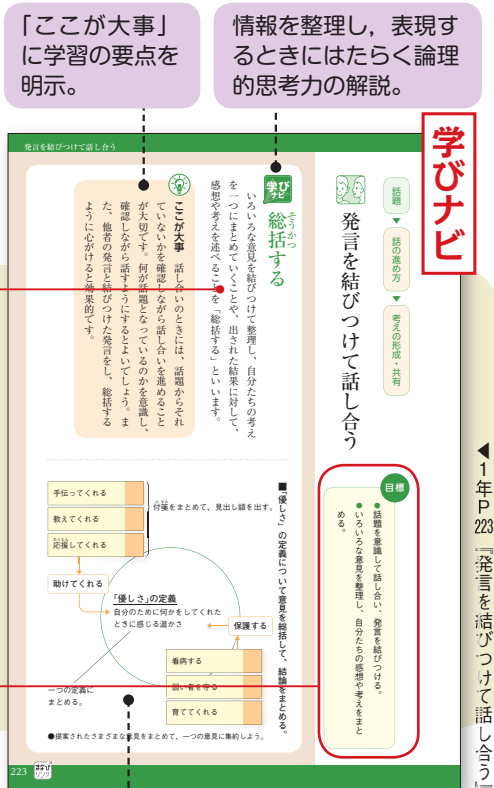
学びナビ「表現教材」

「学びナビ」が開く主体的・対話的な表現

よりよい表現のためには「どう考えればよいか」を知ることが重要です。「話すこと・聞くこと」「書くこと」の教材では、表現活動の中ではたらく「思考力」を学びます。

学習過程の重点と関連させながら、「情報の扱い方」「考え方」を自覚した表現活動を生み出します。

● 学びナビの構造「表現教材」



生徒の学びと教師の授業作りを支えたい

人見誠

新学習指導要領では「主体的・対話的で深い学び」が求められていますが、「深い学び」を実現するためには、前提となる「確かな学び」が必要です。そのためには入念な教材研究が欠かせませんが、現場の教師、特に若い先生にとっては時間を確保することは困難です。「学びナビ」は、教師にとっては授業作りの指針となり、生徒にとっては「何を学べばよいか」を示し、「確かな学び」に導いてくれる存在です。また、共通の目標をもつことで、交流活動も円滑に進めることができます。さらに、目標がはつきりすることでつけた力が明確になり、評価もしやすくなります。そして、授業準備や評価の効率化は多忙な教師の助けとなり、今叫ばれている「働き方改革」にもつながるのです。まさに、これからの時代にふさわしい教科書だといえるのではないのでしょうか。



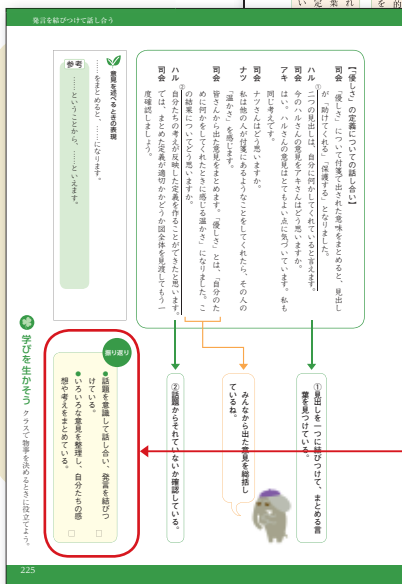
人見誠（ひとみま こと）
目黒区立東山中学校主幹教諭。
東京都中学校国語教育研究会事務局長。

● 系統表「話すこと・聞くこと」

第一学年	第二学年	第三学年
内容を整理して説明する	説得力のある提案をする	構成を考えて主張をまとめる
◇関係づける	◇計画する	◇組み立てる

学習活動

「学びナビ」で習得した論理的思考力を、「学習活動」で活用していく。



「目標」で学習の見通しをもち、「振り返り」で自覚的に確かめる。

「学びナビ」は、学習の中で次のように活用できます。

- ① 考えの形成・過程の重視
目的に応じて複数の情報（根拠）を関連づけて、考えを形成します。
- ② 言語活動の充実（指導と評価の一体化）
大事なポイント（観点）をおさえて生徒の言語活動を充実させます。
- ③ 学びの広がりや深まりの実感（振り返り・見通し）
考えの広がりや深まりなどの変容・深化を実感し、自らの学びを見通し、調整していきます。

● 系統表（書くこと）

第一学年			第二学年			第三学年		
調べた内容を聞く ◇予想する	発言を結びつけて話し合う ◇総括する	観点を明確にして伝える ◇課題を設定する	新聞の投書を書く ◇課題を設定する	構成を明確にして手紙を書く ◇組み立てる	具体例をもとに説明文を書く ◇一般化する	表現の工夫を評価してスピーチをする ◇限定する	意見を共有しながら話し合う ◇一般化する	読み手を意識して報告文を整える ◇評価する
材料を整理して案内文を書く ◇把握・理解する	根拠を明確にして意見文を書く ◇比較・関係づける	根拠をもとに意見文を書く ◇推論する	説得力のある批評文を書く ◇比較・関係づける	自己PR文を書く ◇検証する	情報をもとめて作品集を作る ◇まとめる			

特色 1

SDGs

主体的・対話的で深い学びを実現する

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



● SDGsとは

2015年の国連サミットで採択された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指すために定められた国際目標です。地球上の「誰一人として取り残さない」を合言葉に、17のゴール、169のターゲットから構成されています。日本国内でも、企業・自治体などが積極的に取り組んでいます。

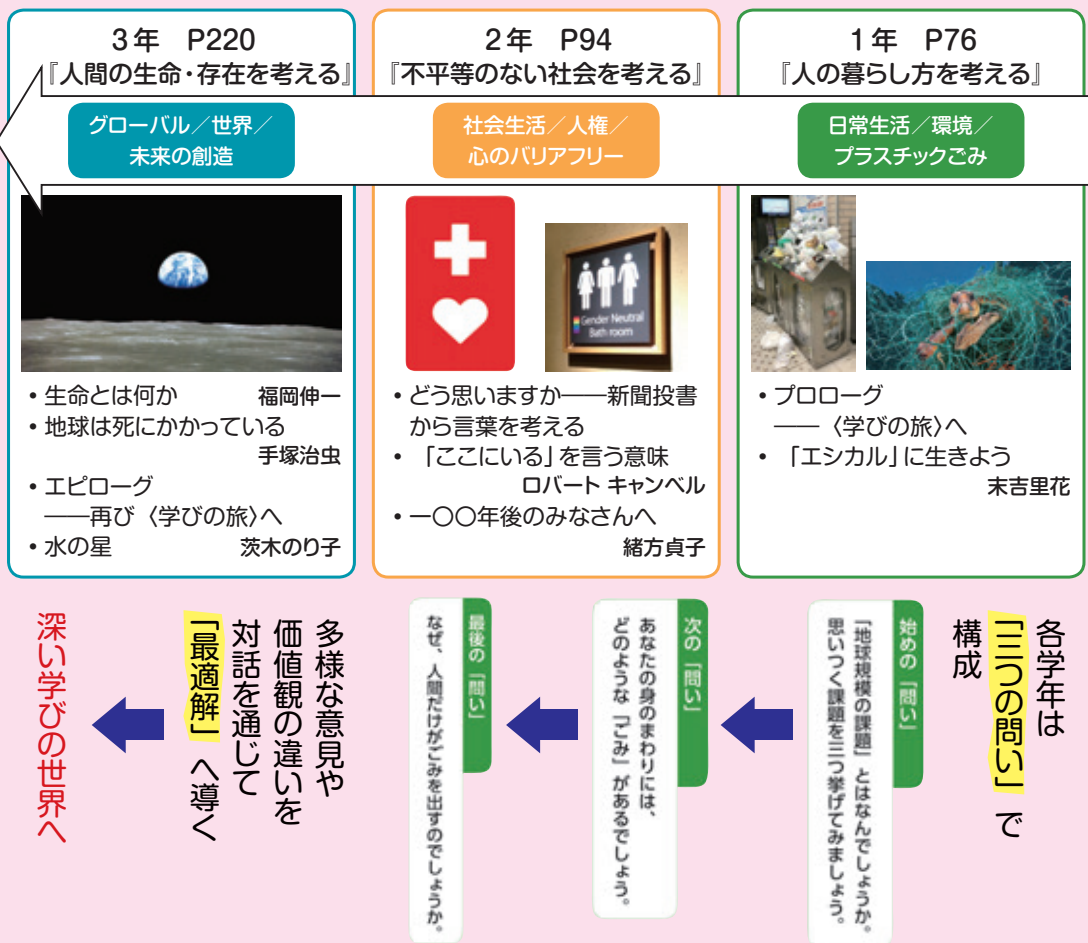
SDGsを国語科の視点で教材化

① SDGs教材「持続可能な未来を創るために」を全学年に新設しました。生徒一人一人が課題を発見し、「正解のない問い」に向き合いながら、考えを深めることが可能です。

② 各領域で扱う話題や題材を、SDGsの視点で選定しました。現代の多様な課題に対して自ら考え、意見を交流することで、「主体的・対話的で深い学び」を実現します。



① 『持続可能な未来を創るために』



② 全学年、各領域でSDGsを取り入れた話題、題材を設定



▲ 3年 P48 『薔薇のボタン』

▲ 2年 P115
『根拠をもとに意見文を書く』

▲ 1年 P170 『子どもの権利』

特色2

文学

確かな言葉の力を身につけ、生かす

文学の味わい、人間観を養い、情緒を育む。小説としての仕掛けのおもしろさをおして、内容を深く読むことができる作品を収録しました。

一年

P 18

桜蝶（物語・小説）
田丸雅智



同一のストーリーを異なる語りで表現する。文学の仕掛けのおもしろさにふれる。



表現や描き方によって、同じアイデアでも作品の見え方が異なってくる。それを味わっていたために考えたのは、二作を同じ設定にし、同じ場面から始め、同じ結末で終わらせるということでした。

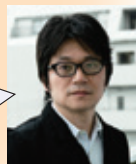
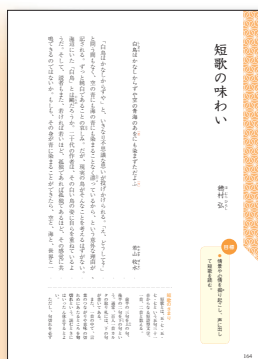
これによって、AとBで何が違うのか、内容面もさることながら、表現面や描き方の面で比較しやすいように意図しました。表現の違いから生じる差を考察し、他の文学作品に触れる際の読みを深めるきっかけになればと願っています。

二年

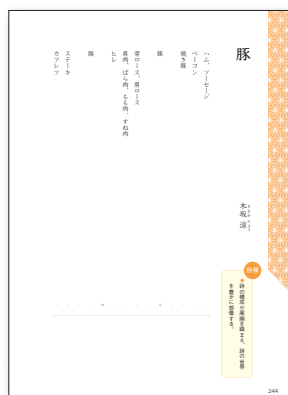
P 164

短歌の味わい（短歌）
穂村弘ほか

名作から現代の作品まで、気鋭の歌人が読み解く。



子どもの頃、下敷き越しに日蝕の太陽を見つめたことを思い出す。嗚呼、欠けてゆく、欠けてゆく、欠けてゆく、欠けてゆく……、日蝕自体もさることながら、地球が怖ろしい速さで動いていることが実感できてショックだった。太陽が星の動きが、時間が目に見えるのだ。たった一枚の下敷きが大きなことを伝えてくれた。同様に、目の前の短歌の言葉について丁寧に考えることで、その奥にある命や心や時間や青春の姿が浮かび上がってくる。そんな体験を共有したいと思う。



三年

P 22
なぜ物語が必要なのか（随筆）
小川洋子

平和や人権などを背景に、文学と
生きることとの関係を考える。



タイトルには、必要という言葉を使っていますが、物語と人の関係は、もっと自由で自然なものかもしれません。現実の生活で私たちは、一生懸命言葉をとり繕って自分の考えを説明したり、相手を説得したりします。時に、言葉によって誤魔化されたり傷つけられたりします。しかし、物語に触れている間は、言葉の不自由さを振り切り、無言で満たされた心の奥底を旅することができます。

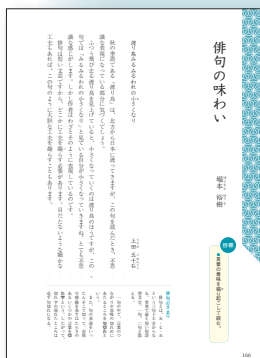


P 48
薔薇のボタン（読書）
梯久美子

被爆した少女が残した服をとおして、
平和について新たな視点で考える。

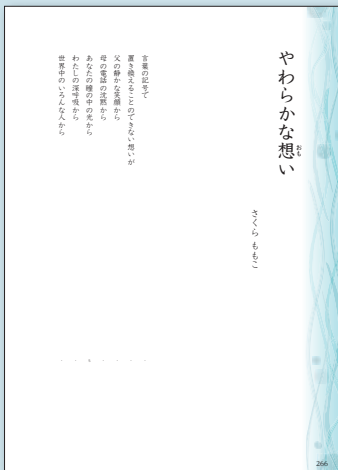


P 166
俳句の味わい（俳句）
堀本裕樹ほか
鑑賞から創作へ。十七音の言葉で
切り取られたさまざまな世界を味
わう。



P 266
やわらかな想い（詩）
さくらももこ

送り出しの詩として、さくらももこの詩を
教科書に初めて掲載。



俳句は五・七・五の十七音でできた、気軽に触れられる世界一短い詩です。俳句の楽しみ方は大まかに言って、三つあると思います。一つは自分で俳句をつくること、二つは俳句を鑑賞すること、三つは自作の俳句を持ち寄って句会をすることです。どのアプローチからでも構わないと思いますので、俳句に触れてみてくれたら嬉しいです。
歳時記をめぐって、さまざまな季語を覚えながら、日本語の豊かさに触れる喜びを感じましょう。



特色2

説明文

確かな言葉の力を身につけ、生かす

多種多様な側面から、現代の中学生が向き合う社会の課題にふれ、深い思考を導く教材を開発しました。

また、論理的思考力を高めるための教材化も工夫しています。

一年

P 32
自分の脳を知っていますか (説明)
池谷裕二

人間の脳のはたらきについて、実験をとおして考える。



P 86
森には魔法つかいがある (説明)
畠山重篤

森と川と海の豊かな関係について、図や写真とともに読み解く。



人間の生活には、どこに住んでいても、必ず川の水が関与しています。森と川と海、その中に人間の生活もあるわけです。その川の流れ込む海に力キがいて、私はそこで力キの養殖をしておりますから、力キだけじゃなくて人間も見ているという立場です。鉄と生き物の関係、特に植物との関係を知るということは、すぐく意味があることです。

P 170
子どもの権利 (説明)
大谷美紀子

日本人で初となる国連子どもの権利委員会委員を務める筆者が、子どもの人権の大切さを訴える。



子どもの権利条約は世界中の子どもの権利を守るために、国連が作った条約です。子どもの人権を学ぶことは、自分を大切にすると同時に、他人を思いやる生き方を身につけるための力になります。そして、このことが平和な社会を築くことにつながっています。また、子どもの権利という観点から、身近なところで、さらに、日本の中の、そして、世界の各地の子どもたちの問題について関心を持ち、考えてみてもらいたいと思います。

P 200
『言葉がつなぐ世界遺産』 (報告) 橋本典明

P 212 『地域から世界へーものづくりで未来を変えるー』 (参考) 関根由子

伝統的な技術の継承、発展について文章を関連させて読んで考える。



二年

P 104
紙の建築（説明） 坂茂
災害などの支援の活動をおして、
社会と仕事との関係を、図や写真を
参考に読んで考える。



P 194
ガイアの知性（評論） 龍村仁
象や鯨のもつ「知性」を考える
ことをとおして、人間の「知
性」のあり方を問う。

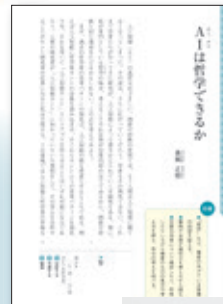


イルカなど
の芸は、彼らが
好きでやって
いる。好きとい
うより、人間が
思うとおりに
やってあげる
と喜ぶから、う
れしいんだと
いう言い方で
もしい。調教師
は教えたつも
りでも、彼らは
おもしろいか
らやっている
というのが本
当なんです。



三年

P 74
AIは哲学できるか（論説） 森岡正博
日々、技術が進歩する人工知能（AI）
と人間の関係を、哲学的な思考を課題
に考える。



P 90
async——同期しないこと（論説） 坂本龍一
P 96
問いかける言葉（論説） 国谷裕子
現代の社会と人間との関わりを、異なる立場
からの主張を読み比べて考える。



P 111
実用文を読む（実用）
学習指導要領で新たに取上げられた実用
文について、中学生に身近な題材をもとに学
習する。

〇〇市立図書館をご利用の皆様へ 2021年9月30日
図書の出貸条件変更のお知らせ
2022年2月1日から、より多くの皆様に資料をご利用
いただけるよう、貸出条件を変更いたします。

利用区分	【変更前】	【変更後】
市内居住・青 島・青森の た	30点 (うち、CD・DVDは5点) (期間延長：2回まで)	35点 (うち、CD・DVDは5点) (期間延長：1回まで)
その他の市 民	30点 (うち、CD・DVDは5点) (期間延長：2回まで)	3点 (うち、CD・DVDは5点) (期間延長：1回まで)

よくある質問 (Q & A)
Q 貸出条件変更日の時点で借りている本が16点以上あ
る場合は、どうなりますか？
A 返却日までそのままご利用いただけます。

お問い合わせ先 〇〇市立図書館 管理部
電話 XXX-XXXX-XXXX
メール ooooo@oooo.jp

P 262
青春の歌——無名性の光（評論）
穂村弘
現代を代表する歌人、穂村弘が、
卒業を控えた中学生が向かって
いく青春の時期をテーマに、現代
の短歌作品を読み解く。



確かな言葉の力を身につけ、生かす
メディアと表現

メディアと表現

拡大する情報社会で、自分にとって必要な情報を的確に捉え、活用する力を育成するため、情報王ラルやメディア・リテラシーについて解説した読み物を設けました。



池上彰

池上彰

メディアというのは、まず自分でいたさないとダメ。それ、全部は編集されている、ということですが、パワエニヤ番組を覚えている、タレトの発言の一つ一つにテロタイプ（文字）が つきます。番組を収録したあと、編集でテロタイプ書き込んでいくのです。タレトとどうしとり目まぐるしく出てくきますから、見ているれば、「ああ、不必要な場面はカットして、おもしろいやり」とだけをつないだのだから」ということがわかります。

しかし、編集されているのは、パワエニヤやドラマばかりではないのです。ニュースもまた同じです。

私がNHKに入社したのは一九七三年です。願
い出記者として、鳥根根松江、市野警愛や消防隊に担当し
ていました。ある日のこと、鳥根根の消防隊の卒業式の
取材に行きました。

最初に講堂で行われた卒業式は、学校長式辞など、
習いおりのものでした。でも、そこは消防学校、卒業
のあと、出陣前に着替えた学生たちが、訓練で身につ
けた技術を披露するのです。

これを取材した私は、卒業式の様子から、順番に順
を書いて取材に提出しました。デスクとは、若い記者
が書いた原稿をチェックするベテラン記者のことです。

一年

PN84
SNSから自由になるために 高橋 暁子



SNSから自由になるために

高橋 曉子

[illegible]

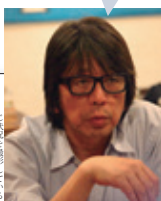
SNSは道具に過ぎないのです。道具に振り回されないでください。自分の生活、人生、学校生活、友人関係や家族関係、そういうものがいちばん大事です。あくまでSNSはそういうものを楽しく豊かにするために使ってください。もし「振り回されているなあ」と思ったらちょっと距離をとって「どうやってうまく使えるのかな」と、一度立ち止まって考える習慣をもってもらえると嬉しいなと思います。

一年

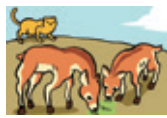
ものは多面的、多重的で多

三年

P60
メディア・リテラシーはなぜ必要か？ 森達也

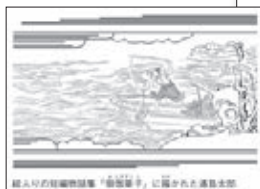


に状況を撮影している。違いは何か。カメラの位置だ。つまり視点。どこにカメラを置かせて、映し出されたものの界はどんなに見える。そしてその映像を見たあたは、よく通う感情を抱く。これが情報の本質だ。

[illegible]

『伝え合う言葉 中学国語』

桃太郎、浦島太郎などのなじみ深い昔話を入り口に、古典の世界へと誘う。



昔話と古典
箱に入った桃太郎

一年
昔話と古典——箱に入った桃太郎——
物語の始まり——竹取物語——
故事成語——中国の名言——矛盾 助長

▲1年P110『昔話と古典——箱に入った桃太郎——』

▼2年P142『二千五百年前からのメッセージ——孔子の言葉——』

各地の孔子廟を紹介。

孔子の言葉

子曰、学而時習之、不亦説乎？
有朋自遠方来、不亦樂乎？
人不知、而不愠、不亦君子乎？
（学而篇）

先哲の言葉は、今も私たちの生活に生きています。孔子の言葉は、私たちの心に残っています。

『徒然草』に、話が楽しめる「猫また」を新採録。

と云へば、
春はあけぼの、うつくしきもの
仁和寺にある法師
奥山に猫またといふものありて
二千五百年前からのメッセージ
——孔子の言葉——

猫また

◀2年P132
『隨筆の味わい——枕草子・徒然草——』

『おくのほそ道』と和歌、漢詩とのつながりを捉え、理解を深められる構成。

▶3年P134『風景と心情
漢詩を味わう』

春の望み
杜曲
城破、山河在
春草、木深在
感時、花溅淚
恨別、鳥惊心
白頭、催短髮
渾欲、不勝簪

漢詩を味わう

▼3年P126『和歌の調べ——万葉集・古今和歌集・新古今和歌集——』

和歌の調べ

万葉集
古今和歌集
新古今和歌集

おくのほそ道旅程図

旅への思い——芭蕉と「おくのほそ道」——
旅立ち 平泉 立石寺
和歌の調べ——万葉集・古今和歌集・新古今和歌集——
風景と心情
——漢詩を味わう——

◀3年P116『旅への思い——芭蕉と「おくのほそ道」——』

特色2

古典

確かな言葉の力を身につけ、生かす

入門をより親しみやすくし、豊富な資料を用いて、古典への関心を高める工夫を凝らしました。

二年

敦盛の最期——平家物語——

隨筆の味わい

——枕草子・徒然草——

春はあけぼの うつくしきもの

仁和寺にある法師

奥山に猫またといふものありて

二千五百年前からのメッセージ

——孔子の言葉——

三年

旅への思い——芭蕉と「おくのほそ道」——

旅立ち 平泉 立石寺

和歌の調べ——万葉集・古今和歌集・新古今和歌集——

風景と心情

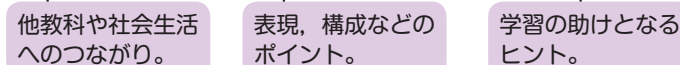
——漢詩を味わう——

確かな言葉の力をつけ、生かす
コミュニケーション力

日常生活や社会生活において、言葉をとおして互いの意見などを正確に理解したり表現したりする力を高めるための工夫をしています。

2 多様な課題に対する「最適解」を協働的に導き出す「対話力」を高めます。

◀ 2年P 115 『根拠をもとに意見文を書く』

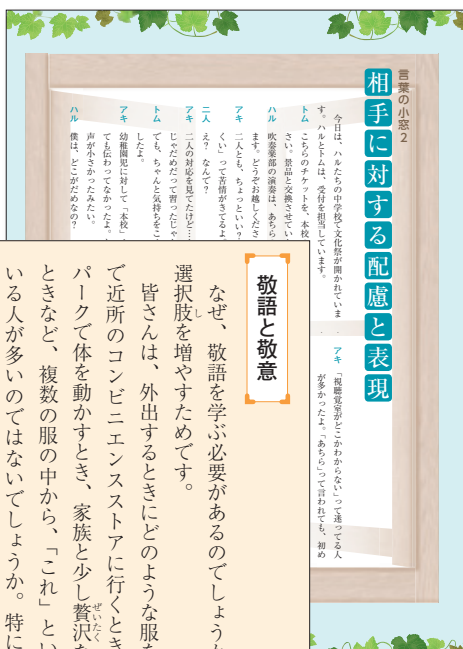


Portrait of Professor Tetsuo Kato, a middle-aged man with grey hair, wearing a dark suit, white shirt, and a red and white striped tie. He is smiling and standing in front of a bookshelf.

▲3年P230『「対話力」とは何か』

▶ 3年P107

『相手に対する配慮と表現』



3

敬語・敬意表現について、言語教材では、敬語に関する学習で、敬語の種別などの基礎的な情報にとどまらず、円滑なコミュニケーションのために必要な知識として、理解を深めるようにしています。

▼ 2年P276 『敬語』

敬語と敬意

なぜ、敬語を学ぶ必要があるのでしょうか。それは、表現の選択肢を増やすためです。

皆さんは、外出するときどのような服を選びますか。一人で近所のコンビニエンスストアに行くときや、友達とテーマパークで体を動かすとき、家族と少し贅沢なレストランに行くときなど、複数の服の中から、「これ」という一着を選択している人が多いのではないのでしょうか。特に、宿泊行事のような、いつもと違う場所に出かけるときに、ちよつとおしゃれをしたり、服や持ち物を新調したりした経験はありませんか。

言葉にも「ふだん着」や「正装」といった役割があります。私たちは、「相手」「場面」「目的」など、さまざまな状況に応じて、そのときに最も適切と考えられる表現を探し、選んでいるのです。

敬語を使うかわからないということも、言葉の選択の一つといえます。皆さんは、これからたくさんの人と、いろいろな場面面で出会います。その中には、改まった表現を選択しなければならぬ場面もあるでしょう。敬語には決まった型があり、型を知っていれば、それを応用して使うことができるのです。

ただし、注意しなければならぬこともあります。敬語はあくまで選択肢の一つですから、必ずしもたくさん用いれば丁寧

▼ 3年P234 『自分の意見を述べるとき』

裁判の審理や評議に必要な言葉の力

【聞く力】

長時間の審理を集中して聞いたり、評議で他の裁判員の意見を聞いたりする中で、事実と主張を聞き分ける力が必要。

【読む力】

事件などに関する資料を正しく読む力が必要。

裁判員裁判の審理が行われる法廷

【書く力】

証言や裁判官の発言、他の裁判員の意見などを聞きながら、大切な内容をメモしたり、自分の考えを述べるためのメモをまとめる力が必要。

【話す力】

有罪・無罪について、根拠を踏まえて明確に自身の考えを主張できる力が必要。

▼ 2年P236 『社会生活と言語コミュニケーション』

言語コミュニケーションの四つの要素

【正確さ】

互いにとって必要な内容を誤りなくかつ過不足なく伝え合うこと。

【ふさわしさ】

目的、場面や状況と調和するように、また、相手の気持ちに配慮した言い方を工夫して伝え合うこと。

四つの要素を意識し、目的に応じてそれぞれの優先順位やバランスを調整する

【わかりやすさ】

互いが内容を十分に理解できるように、表現を工夫して伝え合うこと。

【敬意と親しさ】

伝え合う者同士が、互いに心地よい距離をとりながら伝え合うこと。

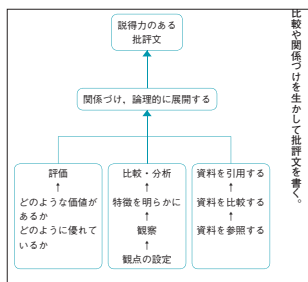
2018年「わかり合うための言語コミュニケーション（報告）」（文化審議会国語分科会）より

など、相手や場面によってさまざまな敬意の表し方があります。

『言葉と社会』 主な内容	1年	・言葉とコミュニケーション（対面コミュニケーションと非対面コミュニケーション） P 26 ・イメージを言葉にする（脳のはたらきと表現） P 178
	2年	・社会で求められる表現（具体的に伝える・わかりやすく伝える） P 69 ・社会生活と言語コミュニケーション（大切にしたい四つの要素） P 236
	3年	・コミュニケーションの場を考える（場に応じた表現や話題） P 200 ・自分の意見を述べるとき（言葉の力と裁判） P 234

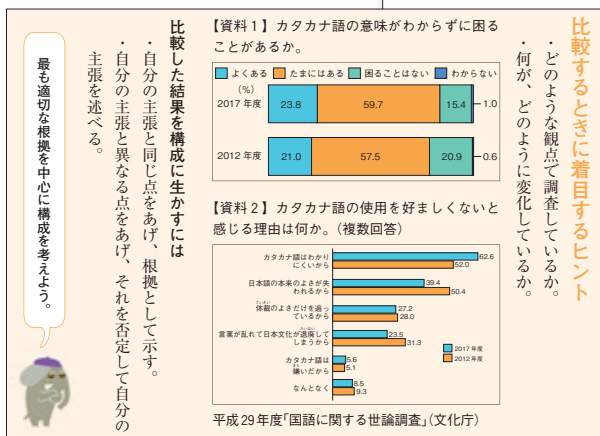
▼3年P103

『説得力のある批評文を書く』



▼2年P94『持続可能な未来を創るために』

— 不平等のない社会を考える —



▲1年P41『資料から得た根拠をもとに意見文を書く』

▼1年P64

『写真で「事実」を表現する』

「メディアと表現」で
取り上げているメディア

3年	2年	1年
新聞 ニュース	脚本 絵コンテ	写真 広告 漫画

特色2

読解力

確かな言葉の力を身につけ、生かす

1 複数の資料や文章を関連づけて読み取る学習を、各領域などで設けています。

2 「メディアと表現」では、メディアの特性を理解しながら、文字や文章だけでなく、多様なテキストを言葉と結びつけて読み、考える教材を設けています。

文章などに含まれる情報を正確に読み取り、関連づけて読み、考え、表現する力を高めるために、さまざまな教材化を工夫しています。

情報の関係を整理し、表現するときに役立つ語彙や表現をまとめています。

「論理的思考力」
を表す表現を取り
上げています。

「情報の扱い方」を踏まえ、
「学びナビ」で「論理的思考力」を取り上げています。

3

学習指導要領で重視されている「情報の扱い方」について、各領域で具体的に取上げています。文章などに示された情報を的確に読み、表現する能力を高める基礎的な力を育成します。

表現に役立つ言葉

議論や討論をする活動

- ☐ ……については調べましたか **考** 解決を見通す
☐ もちろん……だと思えますが…… **考** 予想する
☐ ……（という）場合も言えますか **考** 一般化する
☐ ……と比べると、…… **考** 比較する
☐ そのことは……にもあてはまりますか **考** 一般化する
☐ ……に賛成（反対）の立場ならば…… **考** 推論する
☐ ……に共通点がありますか **考** 共通点を見つける

▲2年折込6『表現に役立つ言葉』

● ……には、共通点（相違点）があります。

議論や討論をするときの表現

……と比べると、……です。

共通点や相違点を明確にするためには、情報や対象と
うしを比べたり、自分の考えと話し手の考えを比べたり
することが大切です。

学ナビ
比較する

▲2年P207『相違点を明確にして聞く』

図表やグラフなど、文字以外の情報（非連続型テキスト）と、文章を関連づけて読み解きます。

問題は、文学、説明文、
実用文など、幅広い文種
を取り上げています。

4

「学びのチャレンジ」では、全国学力・学習状況調査やPISA型問題などを踏まえ、さまざまな文章や資料から関連性を読み取り、考えて表現するという、これからの社会に求められる読解力・表現力を身につけるための問題を掲載しています。

問題2 田中さんは、読書に関する文章を書いています。次の「文章の下書き」を読んで、あとの問いに答えなさい。

【文章の下書き】

廣く利用されてゐる。

[illegible]

そこで国語科の山下先生に効率的に読書をするための方法について尋ねてみました。山下先生は大変な読書家です。山下先生のお話をまとめると次のようになります。

ります。

- 1 本を読む時間を確保するために、仕事をてきぱきとこなす。
- 2 未読の本が本棚に常にある状態をもち、すぐに新しい本を読めるようにし

ておく。

3 選書に時間をかけすぎない。おもしろくない本に出会ったら、そのときは無理に読破しようとせず、別の本にすぐに移ってよい。

4 好きな作家やジャンルがあることはいいことだが、それにこだわりすぎない

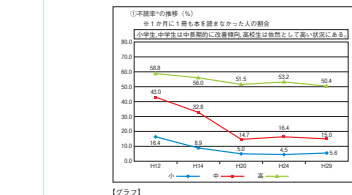
5 古典は現代語訳の本でいいので手もとに置いておく。無理に読破しようと

意気こまずに、ふとした時に聞けばよい。古典とも軽い気分できき合ってみる。

[illegible]

B

146



【グラフ】

特色2

読書

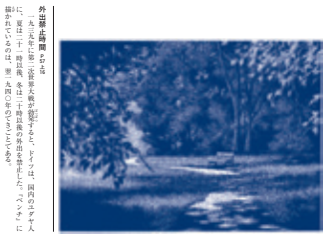
確かな言葉の力を身につけ、生かす

教科書の中で、多くの文章を読むとともに、多様な話題や内容の本との出会いを導き、豊かな読書生活の実現を支えます。
また、本をはじめ、図書館やインターネットなど、身近な情報源の活用を学びます。

「読書への招待①」では、翻訳や随筆を読むとともに、図書館やインターネットの活用を扱います。

「読書への招待②」では、芥川龍之介、夏目漱石、森鷗外の作品と作者の紹介を載せています。

ユダヤ人と一緒に暮らしたことがあった。自分というふうな人にならないうえ、自分の家のこと、周囲のこと、休みのことなど、後の手を取って、しっかり描きあげて、ヘルガは立ち止まった。そして、長いこと、じっと機を見て、それから、こう思った。『家園の目撃者』。それから、へ行き、町の公園で、郊外の森に行き、そうすれば、黄色いベンチなど、いろいろなところへ、僕は、彼女に思いとまらせようとしたんだけど、半分も聞かなくて、さっさと家の中に入ってしまったんだ。



57

▲1年P52
『ベンチ』

▶2年P146
『坊っちゃん』

坊っちゃん

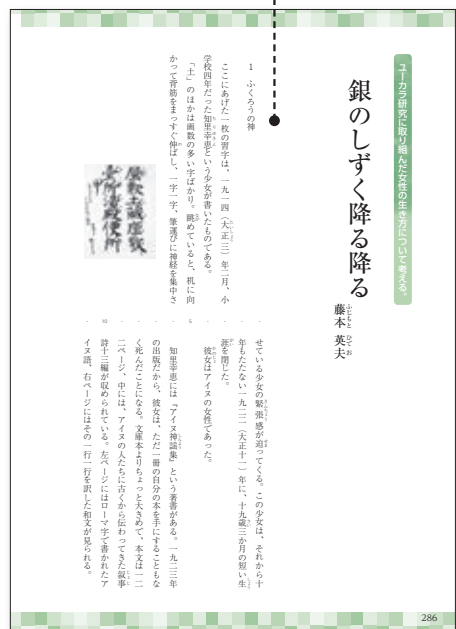
夏目漱石

「広がる本の世界」では、単元内容に関わる本を多数紹介しています。
【紹介図書数】教科書274冊+まなびリンク67冊

付録「言葉の自習室」でも、伝記、随筆、詩、論説など、多様な文章を掲載しています。



▶3年P45『広がる本の世界1』



▶1年P286『銀のしずく降る降る』

特色2

語彙

確かな言葉の力を身につけ、生かす

言葉の世界を豊かにしよう

この教材で学ぶ言葉

- 意** 調べたり考えたりして意味を理解する。
- 文** 短文を作って表現に生かす。
- 同** 同じ音をもつ語句を調べる。
- 対** 反対や対比の意味をもつ語句を調べる。
- 類** 似た意味をもつ語句を調べる。
- 考** 考えるとききの観点として生かす。

折込 理解に役立つ言葉
表現に役立つ言葉

「読むこと」教材では、教材を読むために重要な語句、理解や表現の力を高める語句を脚注に取り立てています。

さらに「みちしるべ」に脚注の語句を課題ごとにまとめ、言葉の学びの理解と意識を高めます。

▲2年P12『言葉の地図』（各学年共通）

類	対	意	対	文
適応	受容	陥れる	攻撃	いわば

▲2年P194『ガイアの知性』脚注

巻末には、さまざまな文章を読むときなどに知っておきたい語句を、観点ごとにまとめて紹介し、語彙を広げます。

▼3年折込4『理解に役立つ言葉』

理解に役立つ言葉

慣用句・ことわざ

- ・目に染みる
- ・目に余る
- ・腹を上げる
- ・てのひらを張る
- ・手をまねく
- ・我に落ちる
- ・言葉に甘える
- ・門をたく
- ・傍若無人
- ・火に油を注ぐ
- ・石の目にも涙
- ・転ばぬ先の杖

できごとや様子、行為に関わる言葉

- ・打ち込む
- ・突如
- ・雪降る
- ・小春日和
- ・待ち望む
- ・出しきる
- ・折れる
- ・肝に銘じる
- ・抱める

心情に関わる言葉

- ・胸れ明れしい
- ・安閑
- ・興味が
- ・安易
- ・のんき
- ・のうのう
- ・ぬくぬく
- ・社伏
- ・心強い
- ・痛快
- ・豪快
- ・速通
- ・さばさば
- ・はつこ

学習指導要領で重視されている「語彙」「情報の扱い方」について、「読むこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」教材で具体的に取り上げています。言葉を理解するだけでなく、言葉を使う力も高め、文章などに示された情報を的確に読み、表現する能力を高めます。

学習指導要領に示された「語彙」の内容

3年	2年	1年
理解したり表現したりするために必要な語句	抽象的な概念を表す語句	事象や行為、心情を表す語句

教材の教科関連の例

領域等	関連の観点	具体例	関連する教科
総合 (SDGs)	取り上げている話題や題材はもとより、「問う」力が他の教科の学習にも生かされます。	1年P76『持続可能な未来を創るために——人の暮らし方を考える』	社会・理科・道徳
話すこと・聞くこと／書くこと	他教科の学習につながる話題・題材を豊富に取り上げています。 「学びを生かそう」では、身につけた力を他教科や社会生活で活用することを示唆しています。	「ウミガメの保護活動」(2年P207『相違点を明確にして聞く』) 「裁判員制度」(3年P234『自分の意見を述べるとき』) 2年P65『構成を明確にして手紙を書く』	理科 社会 総合的な学習
読むこと	さまざまな教科に関連する内容の文章を取り上げています。	1年P86『森には魔法つかいがいる』 1年P170『子どもの権利』 2年P54『水の山 富士山』 2年P104『紙の建築』 3年P90『async——同期しないこと』	理科 社会・道徳 理科 社会・道徳 音楽
言語	言葉のはたらきや文法の理解を深めるため、他の言語を意識した教材化を図っています。	1年P27『文法の小窓1 言葉の単位』	英語

特色2

教科横断

確かな言葉の力を身につけ、生かす

「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材では、各教科や総合的な学習、特別活動に、国語で学んだ表現力を活用する観点を示しています。

「総合(SDGs)」教材では、3学年を通じて、社会、理科、道徳などに関わる話題を取り上げています。

学習指導要領

「指導計画の作成と内容の取り扱い」

言語能力の向上を図る観点から、外国語科など他教科等との関連を積極的に図り、指導の効果を高めるようにすること。

言語教材では、外国語(主として英語)との関わりを取り上げ、日本語のはたらきや特徴の理解を助けるとともに、外国語への興味や関心も高めるよう工夫しています。

学びを生かそう

▶ 3年P103「説得力のある批評文を書く」

他教科で意見を述べるときに役立てよう



▲ 1年P76『持続可能な未来を創るために——人の暮らし方を考える』



▶ 3年P162「言葉の小窓3 慣用句・ことわざ」

各領域等の教材で、他教科の内容などに関連する話題を多く取り上げています。

特色2

まなびリンク

確かな言葉の力を身につけ、生かす

「まなびリンク」は、生徒の自学自習に役立つ資料を、教科書とリンクした、教育出版のホームページから利用できます。

まなびリンク

学習に役立つ情報をウェブサイトで見るができます。

学びを広げるための資料、自分の力で取り組むための資料などを用意しています。



<https://www.kyoiku-shuppan.co.jp/ml-jh/kokugo/2.html>



▲2年P12『言葉の地図』
(各学年共通)

▲2年P61『説得力のある提案をする』

このマークのついている教材は、教科書（各学年P12）にあるQRコードやURLから、教育出版ホームページ上の専用ページにリンクされているデジタル資料を閲覧することができます。

「まなびリンク」の主なコンテンツ

動画：言語活動などに役立つ映像資料。
読み物：教材内容を補足するコラム。
古典：古典の知識や興味を広げる資料。
図書紹介：読書活動を広げる資料。
ワークシート：自学自習を助けるワークシート。
ウェブサイト：教材に関するウェブサイトの紹介。



61 まなびリンク

二 自然・環境・科学
富士山に降った大量の雨は、どこへ行ってしまったのだろうか
45～79 ページ

▶「まなびリンク」サイト



1年生



2年生



3年生



まなびリンク
コンテンツ数

1年生57本
2年生68本
3年生69本

指導者用
デジタル教科書
(教材)

より充実した指導者用デジタル教科書（教材）と、より主体的に学べる学習者用デジタル教科書

学習者用デジタル教科書



学習者支援機能

- 自動音声読み上げ
- 総ルビ（ふりがな）
- 分かち書き
- リフロー

たて書き／よこ書き変更，書体変更，文字サイズ変更 など

興味を誘う多数の動画資料を収録し、古典教材は、必要な情報だけを見せる表示切替ができます。



特集2

令和3年度版 中学校国語科書写教科書『中学書写』の紹介

さまざまな場面で生きてはたらく書写力を育み、
文字文化と豊かに関わる書写教科書

東京学芸大学教授

加藤泰弘



一、はじめに

新しい教育課程では、各教科等をととして育成を目ざす資質・能力を明確化し、主体的・対話的で深い学びの視点から、不断の



P.10 書写をととして学んでいくこと

学習過程の改善を図っていくことが示された。

中学校学習指導要領において、国語科書写は小学校と同様に、「知識及び技能」の「我が国の言語文化に関する事項」に位置づけられた。ここでの「知識及び技能」は、個別的事実的な知識のみではなく、さまざまな学習や生活の場面で生きてはたらく「知識及び技能」として、思考・判断し表現することを通じて育成するものとしている。また、今回の改訂では、第三学年の指導事項に「文字文化の豊かさに触れ」と示され、書写の学習が技能の育成にとどまることなく、文字文化への理解を図り、我が国の伝統文化として、次代へと継承していくことがいっそう明確になった。

二、資質・能力の明確化

令和3年度版教科書『中学書写』（以下、『中学書写』）では、小学校での学習を発展させて、中学校では、「何ができるように

三、学習過程の明確化

各教材は目標に始まり、「考えよう」「生かそう」「振り返ろう」の三ステップで、学習の進め方を明確にしている。生徒が目標にもとづき、主体的に課題を発見してその解決方法を考えることができるようにしている。また、書写の学習用語を用いて話し合う活動とおして、改善の視点を明確にしたり、自らの学習を振り返ったりする活動が設定されている。

三、學習過程の明確化

各教材は目標に始まり、「考えよう」「生かそう」「振り返ろう」の三ステップで、学習の進め方を明確にしている。生徒が目標にもとづき、主体的に課題を発見してその解決方法を考えることができるようにしている。また、書写の学習用語を用いて話し合う活動とおして、改善の視点を明確にしたり、自らの学習を振り返ったりする活動が設定されている。

● 考へるより

試し書きと教科書の文字との比較をとおして、課題を発見し、主体的にその解決方法を考えることが大切である。また、書写の学習用語を用いながら話し合う活動をとおして、個々の具体的な課題を明確にしていくな。その際、字形や配列に加え、その過程となる筆使い（筆圧、速さ、穂先の動き、空中でのつながり）に視点をあてることが大切である。

●生かそう

毛筆で学習したことを硬筆に生かしたり、教材文字をとおして理解した原理・原則を他の文字を書くときに応用したりして、学習活動や日常生活のさまざまな場面で生きてはたらく書写力を着

学習の進め方

目標 学習の目標を確かめよう。

学習のはじめに、題字や毛筆で書こう。

① 題字 学習の目標を確かめよう。

学習のはじめに、題字や毛筆で書こう。

② 課題 課題を見直し、課題を解決していく。

課題を見直し、課題を解決していく。

③ 課題 課題を見直し、課題を解決していく。

課題を見直し、課題を解決していく。

④ 課題 課題を見直し、課題を解決していく。

課題を見直し、課題を解決していく。

学習や日常生活に生かそう

目標 学習の目標を確かめよう。

学習のはじめに、題字や毛筆で書こう。

① 題字 学習の目標を確かめよう。

学習のはじめに、題字や毛筆で書こう。

② 課題 課題を見直し、課題を解決していく。

課題を見直し、課題を解決していく。

③ 課題 課題を見直し、課題を解決していく。

課題を見直し、課題を解決していく。

④ 課題 課題を見直し、課題を解決していく。

課題を見直し、課題を解決していく。

学習の進め方

目標 学習の目標を確かめよう。

学習のはじめに、題字や毛筆で書こう。

① 題字 学習の目標を確かめよう。

学習のはじめに、題字や毛筆で書こう。

② 課題 課題を見直し、課題を解決していく。

課題を見直し、課題を解決していく。

③ 課題 課題を見直し、課題を解決していく。

課題を見直し、課題を解決していく。

④ 課題 課題を見直し、課題を解決していく。

課題を見直し、課題を解決していく。

学習や日常生活に生かそう

目標 学習の目標を確かめよう。

学習のはじめに、題字や毛筆で書こう。

① 題字 学習の目標を確かめよう。

学習のはじめに、題字や毛筆で書こう。

② 課題 課題を見直し、課題を解決していく。

課題を見直し、課題を解決していく。

③ 課題 課題を見直し、課題を解決していく。

課題を見直し、課題を解決していく。

④ 課題 課題を見直し、課題を解決していく。

課題を見直し、課題を解決していく。

『中学書写』



P.105 書式の教室

実に身につけるようにしたい。

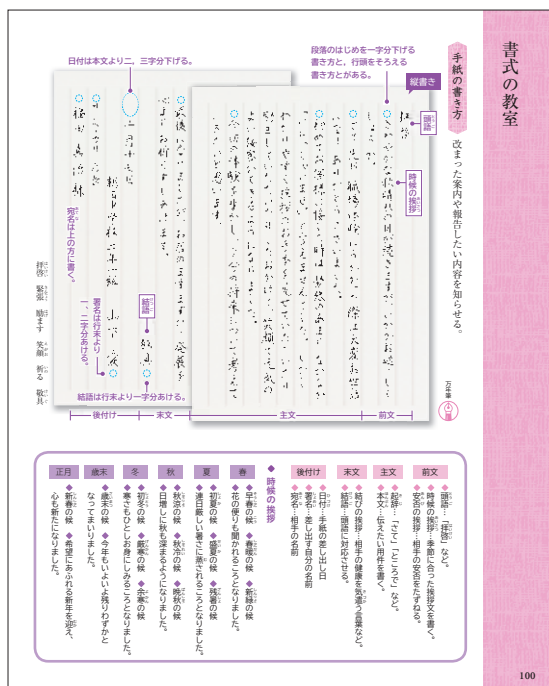
●振り返ろう

自らの課題が解決できたかを自己評価したり、試し書きとまとめ書きを比べて、達成状況を確認し合ったりする相互評価をとおして、一単位時間における学習を振り返り、次の学習活動へとつなげるようにしたい。

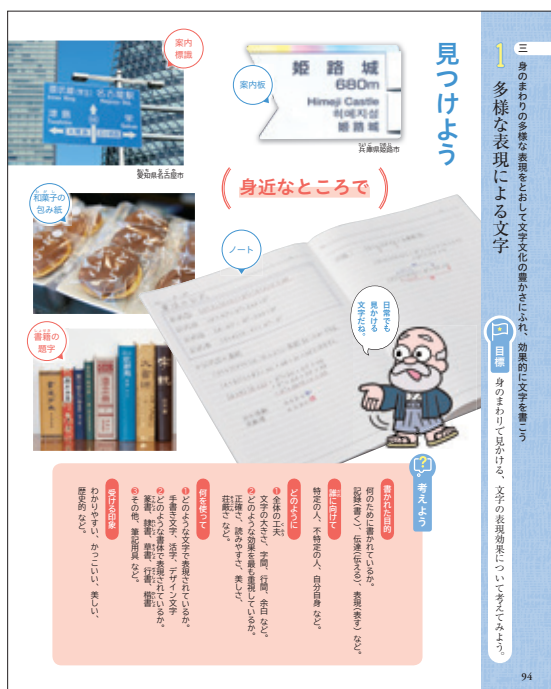
四、学習を生かして書く——教科横断の視点で

『中学書写』では、書写で身につけた力を、国語科の「書くこと」の言語活動、他教科の学習、学校生活、日常生活などのさまざまな場面で活用できるようにすることを最も大切に行っている。

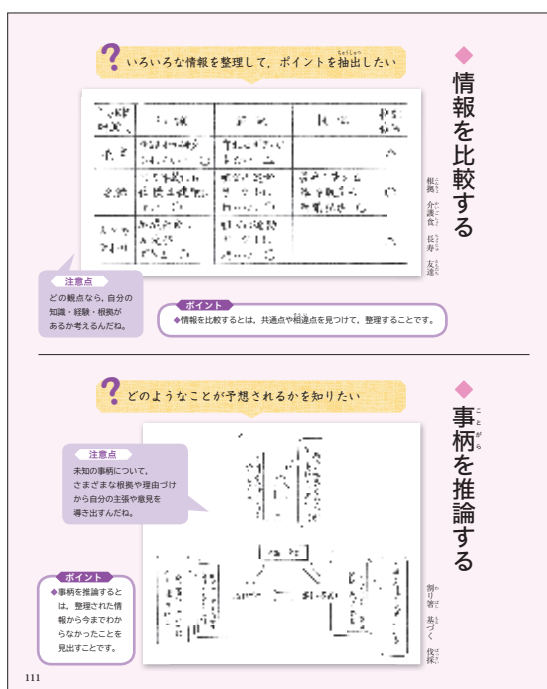
書式の教室



P.100 書式の教室



3年P.94 多様な表現による文字



P.111 情報を整理して、活動につなげよう

国語科の「書くこと」の言語活動例には、記録、報告、手紙、詩、随筆、物語、批評等が示され、他の教科においても、言語活動の充実を図る観点から、考えたことを整理したり、レポートにまとめたりする学習活動が設定されている。また、学校生活においては、掲示物、ポスターセッション、案内状等の他に読書活動において、書写力を生かす場面が数多くある。これらの場面で、書写で身につけた資質・能力が着実に生かされるようにしたい。

また、書くことは思考することであり、思考スキル（比較、分類、推論、焦点化等）と書写の関わりとして、情報を整理して思考する活動例を示している。

五、文字文化と豊かに関わる——主体的な文字の使い手になるために

「文字文化」とは、現代において実社会・実生活の中で使われている文字の文化である。文字の成り立ちや歴史的背景などの文字そのものの文化と、文字の役割や意義など書く行為を文化と捉えるという二つの視点が示されている。

『中学書写』では、身のまわりの多様な表現をとおして文字文化の豊かさに触れることができるようにしている。これらの学習体験によって、文字の役割や書くことの価値を考え、その現代的意義を再認識し、主体的な文字の使い手になれるような指導の充実を図りたい。

編集後記

二〇二〇年春号をお届けします。

今号は、二〇二一年から完全実施される次期学習指導要領のもとでの、新版国語、書写教科書の内容をご紹介します。

次期学習指導要領は、内容や構成が大きく改定され、国語科では、育成すべき資質・能力が、「知識及び技能」と「思考力・判断力・表現力等（A話すこと・聞くこと、B書くこと、C書くこと）」と整理して示され、これらを「言葉による見方・考え方」をはたらかせ、「言語活動」をとおして育成することが求められます。国語、書写両教科書とも、新しい時代に向けた課題に取り組み、編集しましたので、是非ご覧いただきたいと思います。

※さらに詳しい内容は、弊社ホームページをご覧ください。

※紹介している紙面等は、実際に使用いただくものでは変更される場合があります。

新版教科書の表紙について

○国語

国語の表紙は、イラストレーターの吉實恵先生の描きおろし油彩画です。

一年「緑のさざめき」

二年「幕開け」

三年「風走る」

右のように題された作品は「感性豊かなかけがえのない三年間を応援する気持ちで描きました。」との思いで描いていただきました。

○書写

一年生で学習する『竹取物語』絵巻の一部と、高等学校の書道で学習する『高野切古今和歌集』の「い」「ろ」「は」の文字をモチーフにすることで、古典の世界、中学校の先に広がる豊かな文字文化の世界へといざないます。

○令和二年度用供給本についてのお知らせ

『伝え合う言葉 中学国語3』巻末後ろ見返し9「沖縄県」

首里城は、二〇一九（令和元）年十月、火災により大きな被害を受けました。守礼門につきましては火災を免れておりますので、ご指導に際しましてはご留意くださいますようお願い申し上げます。



第18回

地球となかよしメッセージ

作品募集 (2020年度)

「地球となかよし」という言葉から感じたり、考えたりしたことを、
写真 (またはイラスト) にメッセージをつけて表現してください。

応募者全員に
参加賞が
もらえるよ!

応募資格	小学生・中学生 (数名のグループ単位での応募も可)
応募期間	2020年7月1日～9月30日 詳細は「優秀作品展示室」とあわせてホームページをご覧ください。
作品 テーマ	①身のまわりの自然が壊されている状況を見て感じたことや、自然環境や生き物を守るための取り組み ②さまざまな人との出会いを通して、友好の輪を広げた体験、異文化交流、国際理解に関すること ③その他、「地球となかよし」という言葉から感じたり、考えたりしたこと

◎主催／教育出版

◎後援／環境省、日本環境協会、日本環境教育学会、全国小中学校環境教育研究会、毎日新聞社、毎日小学生新聞 *協賛・後援団体は昨年実績で、継続申請中です。

応募の決まりなど詳しくはホームページを見てね

<https://www.kyoiku-shuppan.co.jp/>

教育出版

「地球となかよし」事務局

前回
入選作品



人間緑化

地球温暖化は、私が生まれる前から一向に止まらない。特に緑が少ないコンクリートジャングルの都市部は、ヒートアイランド現象により、夏場は猛暑日と熱帯夜が続く、灼熱地獄と化している。対策として、建築物の屋上や壁面に緑化が進められている。

さらに有効な打開策として、私は都市部にあふれる人間を緑化する、人間緑化を提案する。人間緑化に最適な植物の苔は、霧吹きで水をかけると、すぐに葉がひろがり光合成を始め、二酸化炭素を吸収し、新鮮な酸素を生み出す。

さあ、霧吹きを手に、人間緑化を上げよう！
世界中の人々に人間緑化が浸透し、心までもが緑化されて潤ったとき、地球温暖化は必ず止まる。(中学3年)

中学国語通信 道標 (2020年 春(第40)号) 2020年3月31日 発行

編集：教育出版株式会社編集局

発行：教育出版株式会社 代表者：伊東千尋

印刷：大日本印刷株式会社

発行所：教育出版株式会社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10 電話 03-3238-6864 (内容について)
URL <https://www.kyoiku-shuppan.co.jp> 03-3238-6901 (配送について)



なかよし宣言

わたしたちをとりまく自然や社会は、科学技術の進展や国際化、情報化、高齢化などによって、今、大きく変わろうとしています。このような社会の変化の中で、人間や地球上のあらゆる命のびのびと生きていくためには、人や自然を大切にしながら、共に生きていこうとする優しく大きな心をもつことが求められています。

わたしたちは、この理念を「地球となかよし」というコンセプトワードに込め、社会のさまざまな場面で人間の成長に貢献していきます。

北海道支社	〒060-0003	札幌市中央区北三条西3-1-44 ヒューリック札幌ビル 6F TEL: 011-231-3445 FAX: 011-231-3509
函館営業所	〒040-0011	函館市本町6-7 函館第一ビルディング 3F TEL: 0138-51-0886 FAX: 0138-31-0198
東北支社	〒980-0014	仙台市青葉区本町1-14-18 ライオンズプラザ本町ビル 7F TEL: 022-227-0391 FAX: 022-227-0395
中部支社	〒460-0011	名古屋市中区大須4-10-40 カジウラテックスビル 5F TEL: 052-262-0821 FAX: 052-262-0825
関西支社	〒541-0056	大阪市中央区久太郎町1-6-27 ヨシカワビル 7F TEL: 06-6261-9221 FAX: 06-6261-9401
中国支社	〒730-0051	広島市中区大手町3-7-2 あいおいニッセイ同和損保広島大手町ビル 5F TEL: 082-249-6033 FAX: 082-249-6040
四国支社	〒790-0004	松山市大街道3-6-1 岡崎産業ビル 5F TEL: 089-943-7193 FAX: 089-943-7134
九州支社	〒812-0007	福岡市博多区東比恵2-11-30 クレセント東福岡 E室 TEL: 092-433-5100 FAX: 092-433-5140
沖縄営業所	〒901-0155	那覇市金城3-8-9 一粒ビル 3F TEL: 098-859-1411 FAX: 098-859-1411

本資料は、文部科学省による「教科書採択の公正確保について」に基づき、一般社団法人教科書協会が定めた「教科書発行者行動規範」の通り、配付を許可されているものです。